

読んでみませんか?

～新刊案内～

『にわのかいじゅうファイル』
松橋 利光/作 アリス館



カナヘビ、アリ、アゲハチョウ…ズームアップしてみると、まるで怪獣みたい。庭の小さな生き物たちを紹介した、楽しい写真絵本です。

『女のいない男たち』
村上 春樹/著 文藝春秋



作者の9年ぶりの短編集に収録された6作品に共通して描かれるのは、それぞれの伴侶を失った、またはこれから失おうとしている男たちの物語。

『伝説のエンドーくん』
まはら 三桃/著 小学館



市立緑山中学校には、代々語り継がれるヒーロー「エンドーくん」の伝説がある。創立百周年式典で明らかにされた、その正体とは…。

『お父さんがキモい理由を説明するね』
中山 順司/著 泰文堂



思春期を迎えた娘と父親は、会話も少なくなりがち。そんな一組の親子が、「いじめ」「恋愛」「勉強」などについて、真剣勝負のトークバトルを繰り広げます。

おはなし会

- 6月11日(水) 東部図書館 10:30
- 6月14日(土) 羽曳が丘図書館 15:00
- 6月15日(日) 陵南の森図書館 11:00(小さい子向き)
11:30(少し長いお話を聞ける子向き)
- 6月21日(土) 陵南の森図書館 15:00
- 6月21日(土) 古市図書館 15:00
- 6月28日(土) 丹比図書館 10:30
- 6月28日(土) 羽曳が丘図書館 15:00
- 6月1日(日)、8日(日)、22日(日)
陵南の森図書館 14:00
- 6月1日(日)、8日(日)、15日(日)、29日(日)
中央図書館 13:30

ちびっこサロン

(市役所敷地内:森のゆうびんきょく)

日時 6月11日(水)10:30～

内容 おはなし・手遊び・おりがみなど

今月の
休館日

6月30日(月)

※月末を除き、図書館は日曜・祝日も開館しています。

サラダボール

『僕は今まで恥ずかしくてみんなに隠してきたり、嘘をついてきたりしてきたことがあります。それは僕には父がいないということです。』これは、ある中学生の卒業文集の書き出しです。

彼は幼い頃から母と姉の3人で暮らしていましたが、小学6年の冬に、父と家族4人で暮らすため市営住宅に転居しました。学校では、父の仕事の都合と言っていました。同居して間もなく両親は喧嘩を繰り返し、母と姉との暮らしに戻りました。母は精神的に疲れ、働きに出ることができません。また、父が時々帰ってきてはお金を持ち出し、貯金もすぐに無くなりました。3人は少しでも収入を得るため、傘作りの内職をしました。『内職を始めてから僕には新たな欲望が生まれま

した。それは、自由な時間が欲しいということでした。』彼は学校から帰ってすぐに傘作りの毎日でした。また、節約のために電気もつけず、いつも空腹に耐えていました。『我慢する以外ありませんでした。でも我慢できたのは3人の力だけではありません。叔父が月1回は野菜などの食べ物と生活に必要な物を持って来てくれました。』それでも生活は変わらず、3人は衝突することが増えてきました。『学校から帰る途中に家の窓が見えると、今夜も嫌だなあと毎日思っていました。』

彼が中学2年の3学期、学校で生活指導の先生に呼ばれました。叔父が姉の高校進学と生活について学校に相談したのです。2人とも学校では明るく振舞っていたので全く気づかれていませんでした。『僕は生活のことを先生に話しました。自分の生活が良くなっていくのではと

おも 思い、うれしかったです。』その後、両親が今後のことを話し合い、彼の強い勧めで離婚をし、3人は生活保護を受けけることになりました。『これで毎月お金が入る。お腹一杯ご飯が食べられる。』彼は心の底から安堵しました。『僕はこの貴重な経験からどんなに苦しくても耐え、努力しなくてはいけないことを学びました。また、他人への思いやりの気持ちがどれだけ大切なことかということも思いやりをうけた立場からわかりました。』そして、最後に『これからもまだまだたくさん苦労をして生きていかなければならないと思うけど、頑張って生きていきたいと思えます。』と喜んでいました。

今春、彼の子どもが高校に入学しました。しかし、彼は今でも貧困から生じた様々な問題と向き合い続けており、これからも努力を続けることでしょう。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会